

公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館は、東京都とともに、オリンピック・パラリンピックが
開催される東京を文化の面から盛り上げる「Tokyo Tokyo FESTIVAL」を展開しています。

東京都現代美術館

ユージーン・スタジオ 新しい海 After the rainbow

2021年11月20日(土)ー2022年2月23日(水・祝)

東京都現代美術館では、現在、国際的評価が高まっている新進気鋭の現代アーティスト、EUGENE STUDIO(ユージーン・スタジオ)の国内美術館における初個展を開催いたします。ユージーン・スタジオは寒川裕人(Eugene Kangawa、1989年アメリカ生まれ)による日本を拠点とするアーティストスタジオで、平成生まれの作家としては当館初となる個展です。

「89+」展(2014年、サーペンタイン・ギャラリー、ロンドン)における作品提供や、個展「THE EUGENE Studio 1/2 Century later」(2017年、資生堂ギャラリー)、「資生堂ギャラリー100周年記念展」(2018-2019年)や「de-sport」展(2020年、金沢21世紀美術館)への参加など、国内外の作品発表において高い評価を得ています。さらに、アメリカを代表する現代SF小説家ケン・リュウとの共同制作、完全な暗闇で行う能のインスタレーション「漆黒能」(2019年、国立新美術館)、2021年にはアメリカで発表した短編映画がパンアフリカン映画祭などのアカデミー賞公認の国際映画祭のオフィシャルセレクションに選出されるなど、自由な発想の幅広い活躍に国際的な注目が集まっています。

本展覧会は、平面作品から大型インスタレーション、映像作品、彫刻作品等で構成され、代表作《White Painting》(2017年-)や《善悪の荒野》(2017年)から最新作までを一堂に会し、ユージーン・スタジオの多岐にわたる活動に通底する視点や発想、哲学を紐解くものです。個人的な関心から美術史、過去の事象や文明などの主題を並列に昇華させた作品群は、単なる二次元的なヴィジョンではなく、社会の環境や循環の中で生きる私達の存在を起ち上がらせませす。歴史の転換点ともいべき現在、批判や皮肉から立脚する表現ではなく、現実を見据えて未来へと漕ぎ出すための叡智を喚起させる作品群をぜひご覧ください。

作家略歴

EUGENE STUDIO ユージーン・スタジオ

寒川裕人(Eugene Kangawa、1989年アメリカ生まれ)による日本を拠点とするアーティストスタジオ。個展「THE EUGENE Studio 1/2 Century later」(2017年、資生堂ギャラリー)や、完全な暗闇で執り行われる能のインスタレーション「漆黒能」(2019年、国立新美術館、シテ方・大島輝久)を開催。その他、「89+」展(2014年、サーペンタイン・ギャラリー、ロンドン)への作品提供、「資生堂ギャラリー100周年記念展」(2018-2019年)におけるイギリスの建築家集団アッセンブルとの協働、「de-sport」展(2020年、金沢21世紀美術館)への参加、アメリカを代表する現代SF小説家ケン・リュウとの共同制作『ALTER』(2017年)など。現在、短編映画2本(2021年、アメリカ、日本)が、パンアフリカン映画祭などアカデミー賞公認の映画祭を含む、複数の国際映画祭のオフィシャルセレクションに選出されている。

お問い合わせ □「新しい海」広報事務局(リレーリレー) / E-MAIL: info@relayrelay.net
□東京都現代美術館 事業企画課 企画係 広報班 工藤・中島
TEL: 03-5245-1134(直通) / FAX: 03-5245-1141 / E-MAIL: mot-pr@mot-art.jp
URL: <https://www.mot-art-museum.jp>

※開催内容は、都合により変更になる場合がございます。予めご了承ください。

展覧会概要

会 期		2021(R03)年11月20日(土)～2022(R04)年2月23日(水・祝)78日間
休 館 日		月曜日(2022年1月10日、2月21日は開館)、年末年始(12月28日-1月1日)、1月11日
開 館 時 間		10:00-18:00(展示室入場は閉館の30分前まで)
観 覧 料		未定/小学生以下無料
会 場		東京都現代美術館 企画展示室 地下2F
主 催		公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館 他
企 画		東京都現代美術館 学芸員 丹羽晴美
展覧会カタログ		展覧会図録刊行予定 2021年12月
関 連 イ ベ ント		作品上映、ワークショップ、アーティストトーク等

記者発表

本展覧会の記者発表を東京都現代美術館にて開催します。

新作の制作活動のご紹介や関連事業の作品上演情報等についてご紹介する予定です。2021年6月頃。

展覧会ティザー映像

下記のリンクにて、本展覧会の新作の制作風景や、過去の作品映像を編集した、展覧会ティザー映像を公開しています。

<https://youtu.be/-EizqgP7Ca4>



同時開催

「クリスチャン・マークレー展」・「Viva Viva! 久保田成子展」・「MOT コレクション」

お問い合わせ □「新しい海」広報事務局（リレーリレー）／E-MAIL：info@relayrelay.net
□東京都現代美術館 事業企画課 企画係 広報班 工藤・中島
TEL：03-5245-1134(直通)／FAX：03-5245-1141／E-MAIL：mot-pr@mot-art.jp
URL：https://www.mot-art-museum.jp

※開催内容は、都合により変更になる場合がございます。予めご了承ください。

MOT+
MUSEUM CONTEMPORARY TOKYO
OF ART
東京都現代美術館



01.
ユージーン・スタジオ《善悪の荒野》2017年
作家蔵 ©Eugene Kangawa



02.
ユージーン・スタジオ《Goldrain》2019年
作家蔵 ©Eugene Kangawa



03.
ユージーン・スタジオ
シリーズ《White painting》より 2017年
作家蔵 ©Eugene Kangawa



04.
ユージーン・スタジオ
《Mr. Tagi's room and dream #four-handed》2014年
作家蔵 ©Eugene Kangawa

お問い合わせ □「新しい海」広報事務局（リレーリレー）／E-MAIL：info@relayrelay.net
□東京都現代美術館 事業企画課 企画係 広報班 工藤・中島
TEL：03-5245-1134(直通)／FAX：03-5245-1141／E-MAIL：mot-pr@mot-art.jp
URL：https://www.mot-art-museum.jp

※開催内容は、都合により変更になる場合がございます。予めご了承ください。

画像請求書

広報用図版として4点をご用意しております。掲載ご希望の方はお手数ですが本請求書に必要事項をご記入の上、FAX またはメールにてご連絡ください。なお、写真の使用に際し、キャプションは、作家名、作品名、制作年、コピーライト等を必ずご表記ください。作品のトリミング、編集、文字載せはお控えください。本展記事をご紹介いただく場合には、恐れ入りますが情報確認のための校正原稿をお送りいただき、掲載後は、掲載誌(紙)、HP リンク、DVD、CD 等を広報班宛てにお送りください。

媒体名： _____ 発売・放送予定日： _____

種 別： TV ラジオ 新聞 雑誌 フリーペーパー ネット媒体 携帯媒体 その他 (_____)

御社名： _____ ご担当者名： _____

Eメールアドレス： _____

ご住所： _____

TEL： _____ FAX： _____

ご希望の図版番号に印をお付けください。

- 01. ユージーン・スタジオ《善悪の荒野》2017年 作家蔵 ©Eugene Kangawa
- 02. ユージーン・スタジオ《Goldrain》2019年 作家蔵 ©Eugene Kangawa
- 03. ユージーン・スタジオ《White painting》より 2017年 作家蔵 ©Eugene Kangawa
- 04. ユージーン・スタジオ《Mr. Tagi's room and dream #four-handed》2014年 作家蔵 ©Eugene Kangawa

お問い合わせ □「新しい海」広報事務局（リレーリレー）／E-MAIL：info@relayrelay.net
□東京都現代美術館 事業企画課 企画係 広報班 工藤・中島
TEL：03-5245-1134(直通)／FAX：03-5245-1141／E-MAIL：mot-pr@mot-art.jp
URL：https://www.mot-art-museum.jp

※開催内容は、都合により変更になる場合がございます。予めご了承ください。